

ACCORDION CURTAIN

アコーディオンカーテン

アコーディオンカーテンワンタッチ

取扱説明書 兼 無償修理規定

このたびは、弊社製品をお買上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用になる前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保管してください。

販売店様へ

製品を販売店様でお取付けになられた場合は、
この取扱説明書 兼 無償修理規定はご使用になられるお客様へお渡しください。



警告

コードやチェーンが体に巻きついたり・引っかかるようなことをしないでください。事故の恐れがあります。



日本ブラインド工業会

安全上のご注意（必ずお守りください）

このページでは、製品を正しく取付け、安全にご使用いただくために、特に注意していただくことを表示してあります。製品の取付けや操作の前に、このページをよくお読みになり、適切な取扱いをしていただきますようお願いいたします。

- 表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる、危害や損害の程度を次の表示で区分し説明しています。

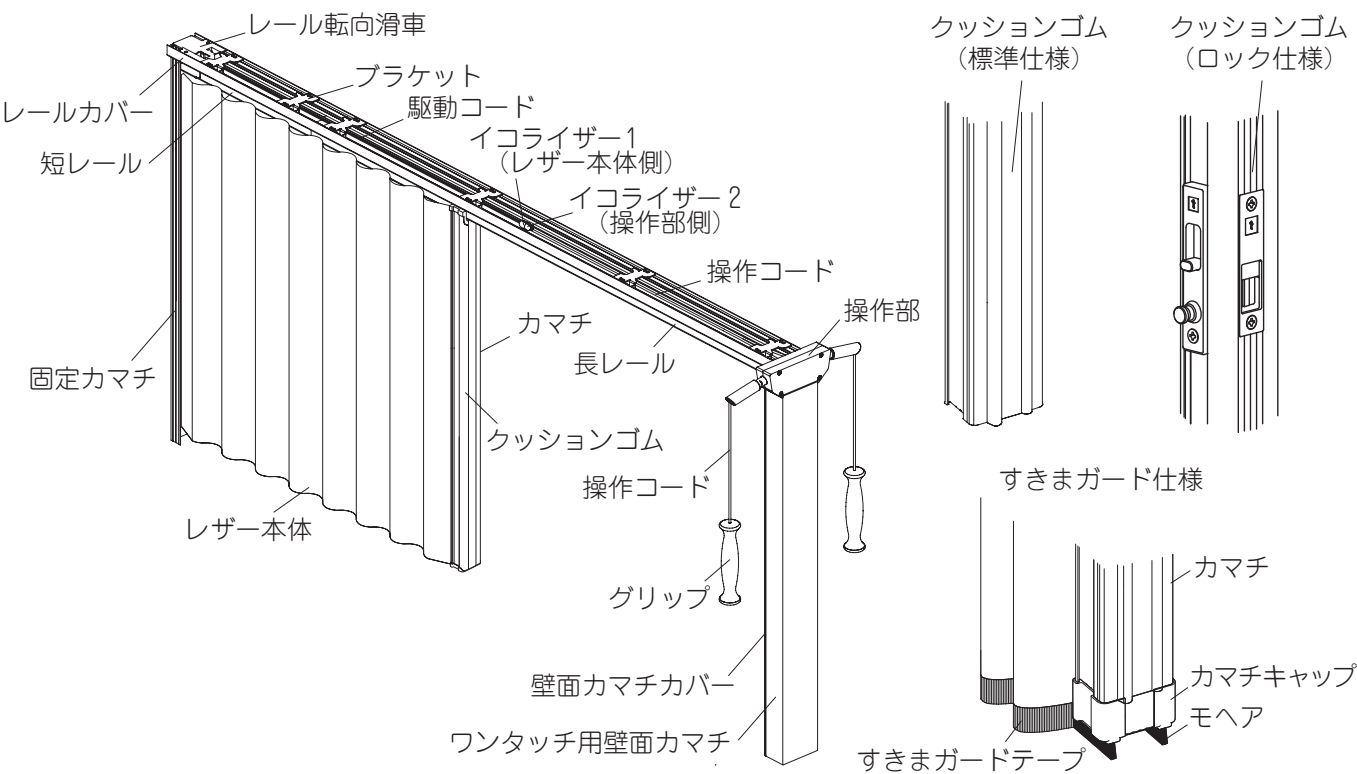
	警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重症などの重大な結果に結びつく可能性が想定される内容を示しています。
	注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結びつく可能性が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し説明しています。

	してはいけない「禁止」の内容です。
	必ず実行していただく「強制」の内容です。

取付け上のご注意		警告
		●付属のビスでは、必ず木部下地へ取付けてください。木部以外の下地に取付ける場合は、下地材質とビス穴（φ 4mm）に適合したビスやプラグ・アンカーなどを別途ご用意ください。 ●レールのブラケットが、しっかりビスで固定されているか確認してください。取付けが不十分ですと、製品が落下してケガをしたり、物を破損する恐れがあります。
		注意
使用上のご注意		●取付けの作業は、安全のため2人以上で行ってください。
		●屋外や高温・多湿（浴室など）、水がかかる場所への取付けはおやめください。レザーの変色や製品の機能低下、不具合の原因になります。
		警告
		●急激な操作や無理な操作は、絶対におやめください。製品の落下、破損などの恐れがあります。 ●製品に寄りかかる、物を立てかける、ぶら下がるなどの行為はおやめください。故障や破損の原因となり、また倒れてケガをすることがあります。
		注意
		●製品の開閉動作の範囲内に、破損の恐れがあるものや動作の妨げになるものを置かないでください。また操作の際は、範囲内に人がいないことを必ず確認して行ってください。 ●分解は製品の破損や故障の原因となりますので、絶対におやめください。 ●火のそばでのご使用は絶対におやめください。

各部の名称

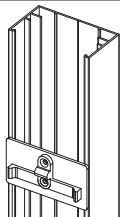
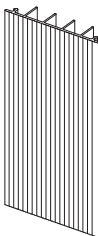


付属品

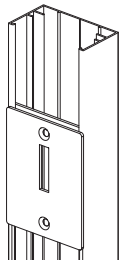
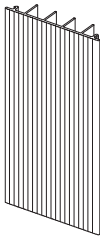
	レール	ブラケット	レールカバー	操作部	固定カマチ
部品図		 ビスM3.5×25		 ビスM3×6	 ビスM3.5×18 ビスM3×16
個数	長レール×1本 短レール×1本	W≤1070：5個 1071≤W：6個	2本	1セット	1本
ビス本数	—	2本／個 ＋2本	—	1本	M3.5×18：7本 M3×16：14本
	ジョイントピン	ワンタッチ用壁面カマチ	壁面カマチカバー	壁面カマチキャップ	クッションゴム
部品図		 ビスM3.5×18			
個数	2本	W≤1200：無 1201≤W：1本	W≤1200：無 1201≤W：1本	W≤1200：無 1201≤W：1個	1本
ビス本数	—	7本	—	—	—

付属品

●簡易ロック仕様（オプション）の場合

	ストライク	ワンタッチ用 壁面カマチ (ストライク付)	壁面カマチ カバー
部品図		 ビスM3.5×18	
個数	W≤1200 : 1 個 1201≤W : 無	W≤1200 : 無 1201≤W : 1 本	W≤1200 : 無 1201≤W : 2 本
ビス 本数	2 本	7 本	—

●ハンドルロック仕様（オプション）の場合

	壁面カマチ (ストライク付)	クッションゴム	ワンタッチ用 壁面カマチ (ストライク付)	壁面カマチ カバー
部品図	 ビスM3.5×18		 ビスM3.5×18	
個数	W≤1200 : 1 本 1201≤W : 無	W≤1200 : 2 本 1201≤W : 無	W≤1200 : 無 1201≤W : 1 本	W≤1200 : 無 1201≤W : 2 本
ビス 本数	7 本	—	7 本	—

製品の取付けかた

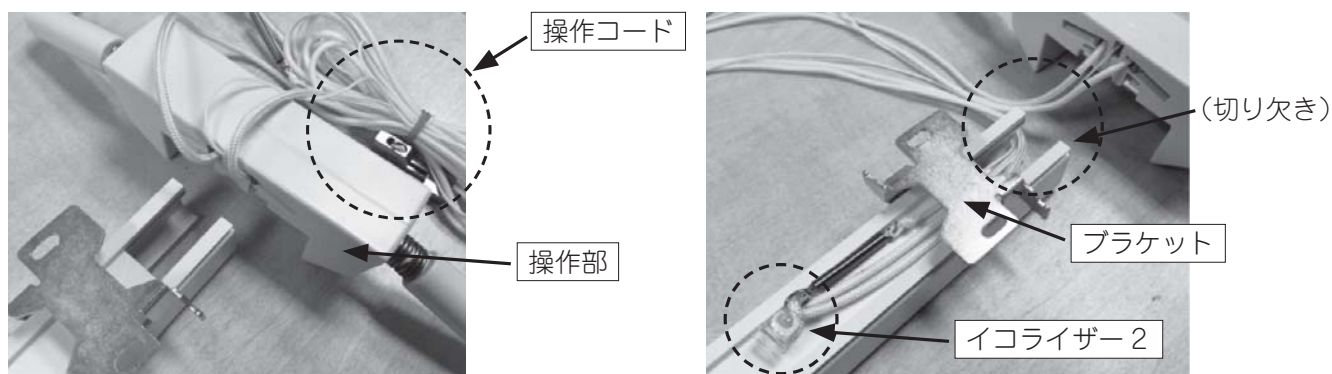
1. 長レール(ブラケット付)に操作部を嵌め込み、天井に取付ける。

①操作コードをレール上面に通す。

操作部の中央から出ている操作コード（太いコード）の結束をほどきます。

操作コード先端のイコライザー2（操作部側）を、レール切り欠き側からレールとブラケットの間に通します（全てのブラケットの間に通す）。

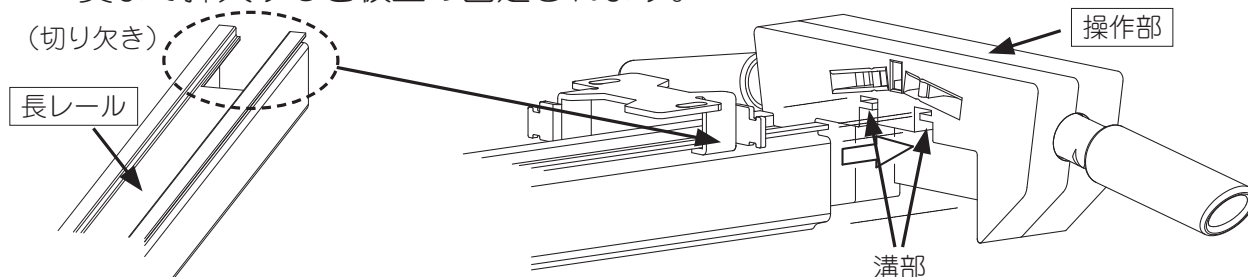
※通し終わったあとイコライザーを、テープでレール側面などに固定しておく、後の工程がしやすくなります。



②長レール（切り欠き側）と操作部を取付ける。

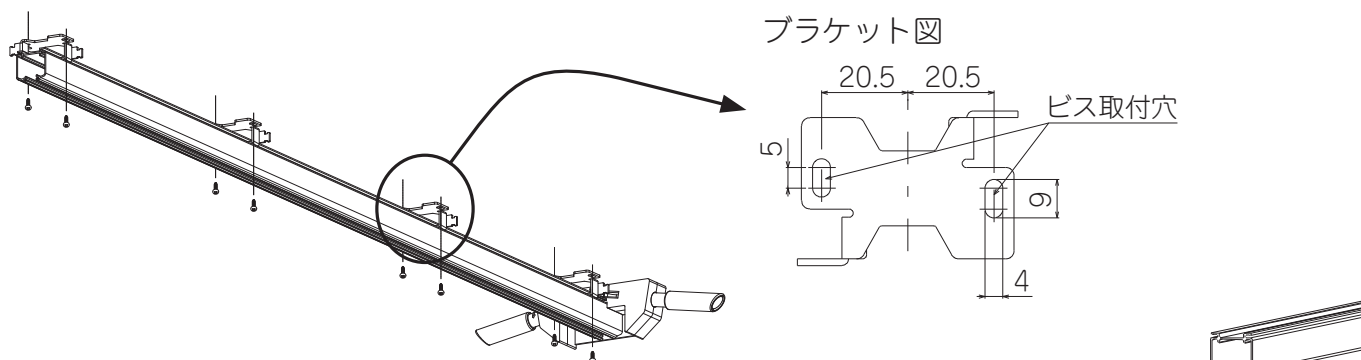
長レールの切り欠きがある側（点線丸部）を、操作部の溝部へ挿入します。

奥まで挿入すると仮止め固定されます。



③長レール（操作部付）を、付属のビス（M3.5×25）で天井に固定する。

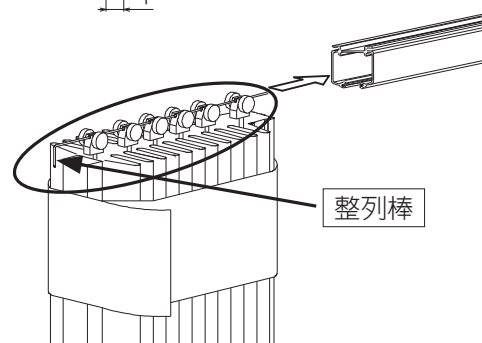
壁面に操作部を当て、天井面にレール（ブラケット）を当て、取付け位置を確認したあと、中央のブラケットから付属のビス（M3.5×25）でしっかり固定してください。



2. レザー本体を長レールに吊る。

カマチ側からレザー本体をレールに吊りこみ、

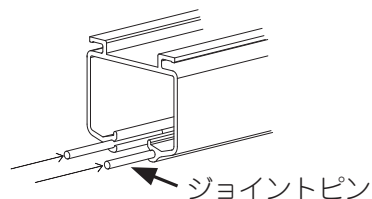
レザー本体を吊ったあと、整列棒を抜いてください。



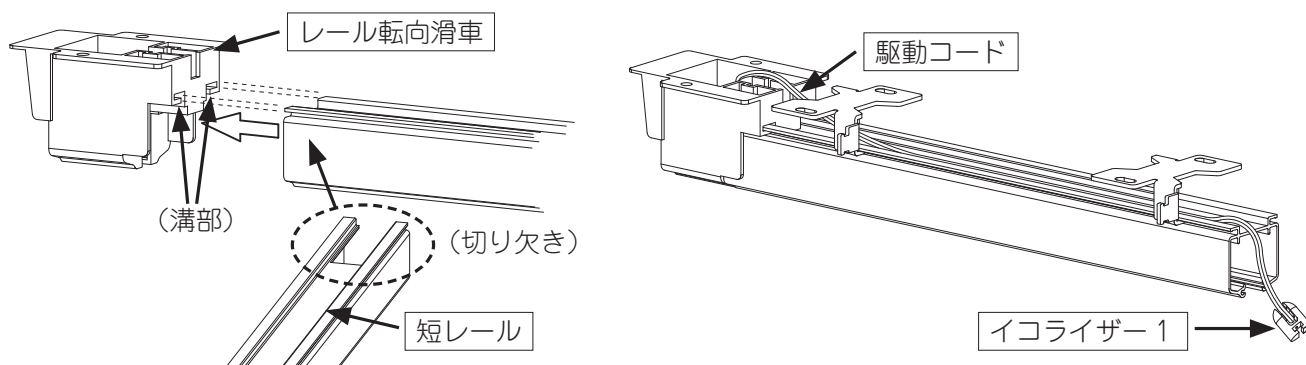
製品の取付けかた

3. 短レール（ブラケット付）を長レールとジョイントし、天井に取付ける。

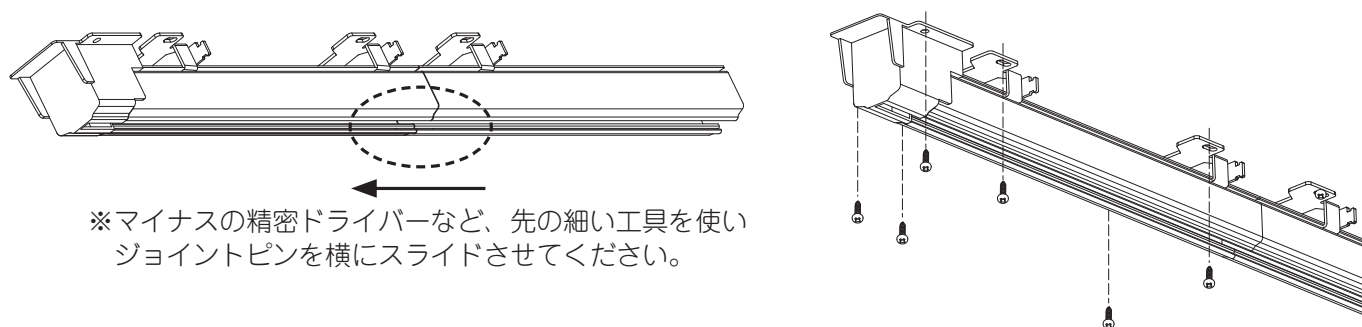
- ①ジョイントピンを長レールに挿入する。
ジョイントピンをレール溝に挿入してください。



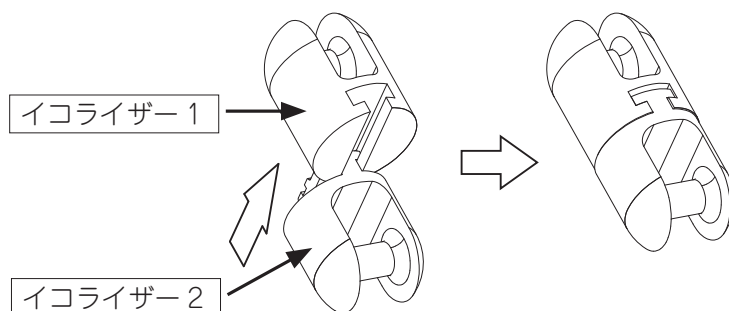
- ②短レール（切り欠き側）とレール転向滑車を取付ける。
短レールの切り欠きがある側（点線丸部）を、レザー本体から出ているレール転向滑車の溝部へ挿入します。奥まで挿入すると仮止め固定されます。
駆動コード先端のイコライザー1（レザー本体側）を、レールとブラケットの間に通す。



- ③短レール（レール転向滑車付）を付属のビス（M3.5×25）で天井に固定する。
短レールを長レールの横に並べ、ジョイントピンを横にずらして仮固定します。
短レールのブラケットとレール転向滑車を付属のビス（M3.5×25）で天井にしっかり固定してください。



- ④イコライザーを嵌合させる。
イコライザー2を、イコライザー1の溝部にスライドして嵌合させます。

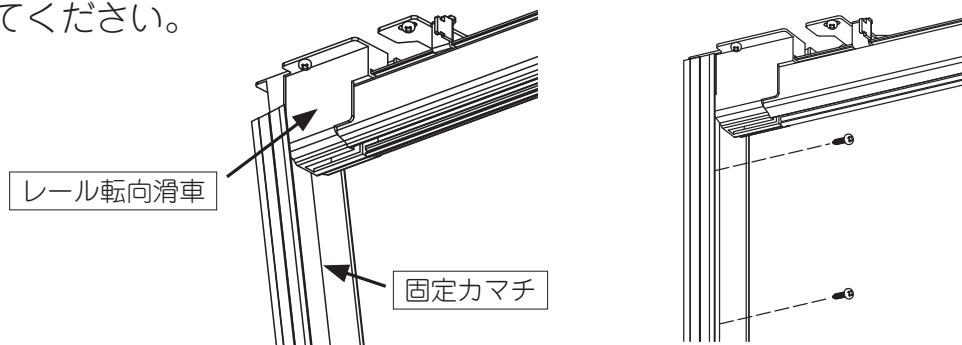


製品の取付けかた

4. 固定カマチを取付ける。レザー本体を固定カマチに固定する。

①固定カマチを壁面に固定する。

固定カマチをレール転向滑車に添わせて壁面に当て、付属のビス（M3.5×18）で壁面に固定してください。

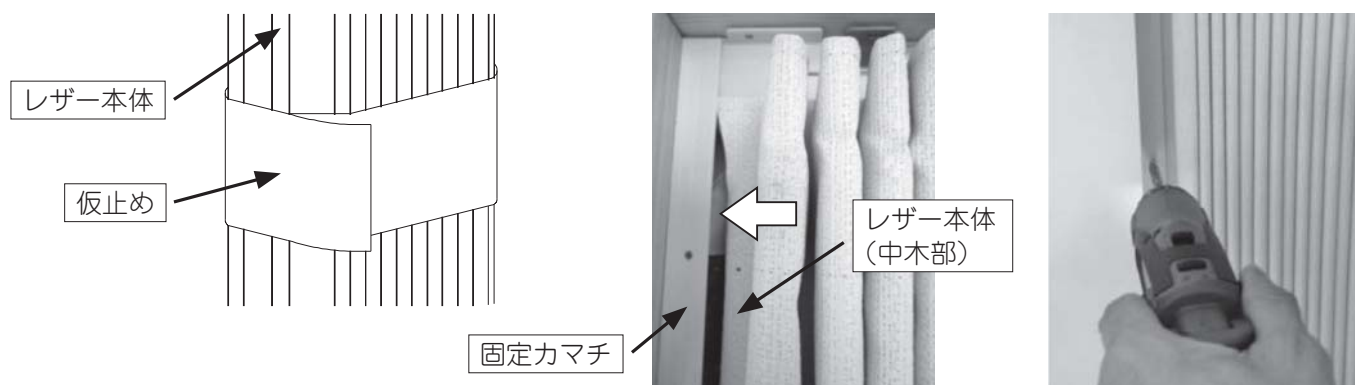


注意

固定カマチは、傾きが無いように固定してください。

②レザー本体を固定カマチに取付ける。

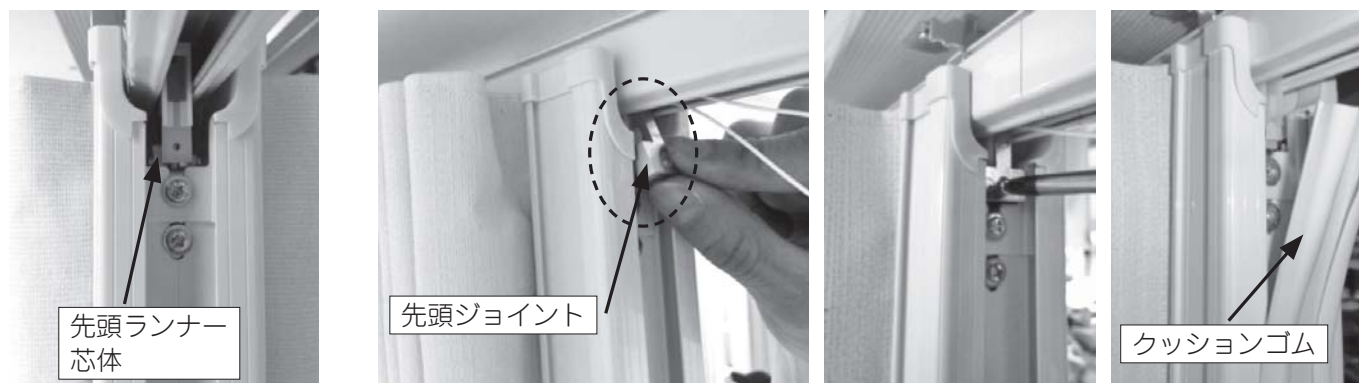
レザー本体の仮止めを外します。レザーの中木部（非カマチ側）を、固定カマチに嵌め込み、中木部と固定カマチを付属のビス（M3×16）で固定してください。



5. 先頭ランナーに先頭ジョイントを取付け、クッションゴムを取付ける。

カマチ上部の先頭ランナーの芯体に、操作部から出ている先頭ジョイント（点線丸部）を嵌合させます。付属のビス（M3×6）で固定してください。

カマチにクッションゴムを取付けてください。



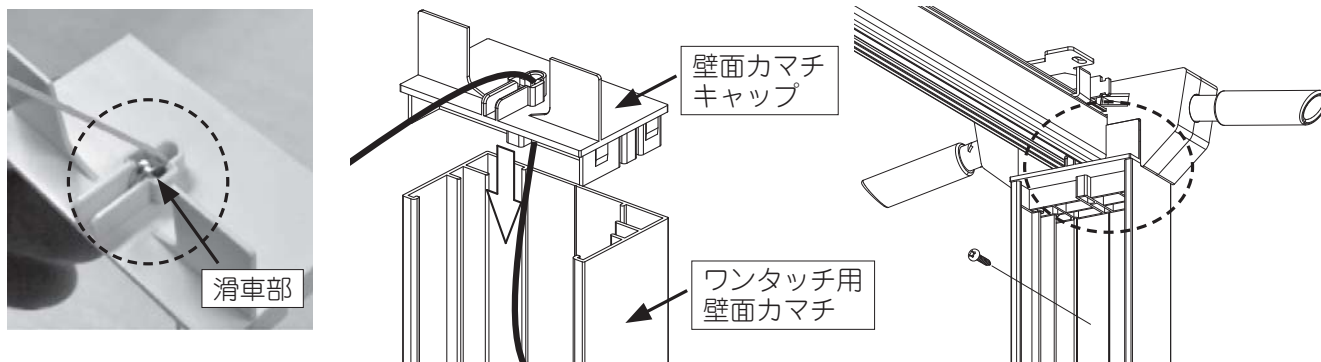
注意

ビスの固定は、手動のドライバーで行ってください。

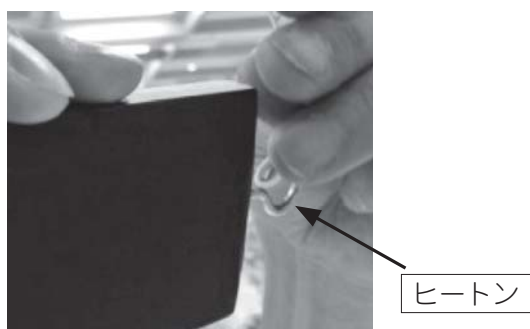
製品の取付けかた

6. ワンタッチ用壁面カムチを取付ける。（※製品W $\geq$ 1201mmの場合のみ）

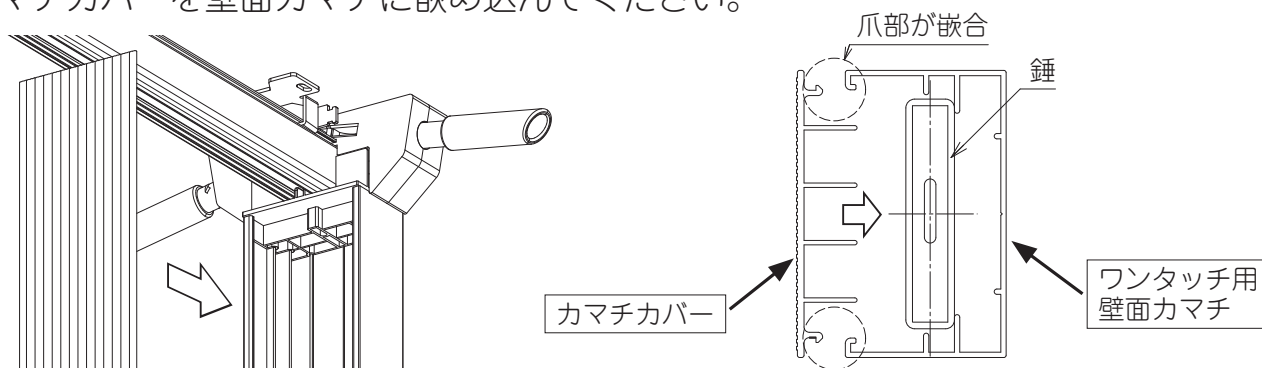
壁面カムチキャップの滑車部（点線丸部）に、先頭ジョイントと繋がったもう片方の細いコードを通し、壁面カムチに取付けます。操作部とレールの位置に合わせて、壁面カムチを壁面に当て、付属のビス（M3.5 $\times$ 18）で固定してください。



錘のヒートンに、コードを結び付けてください。



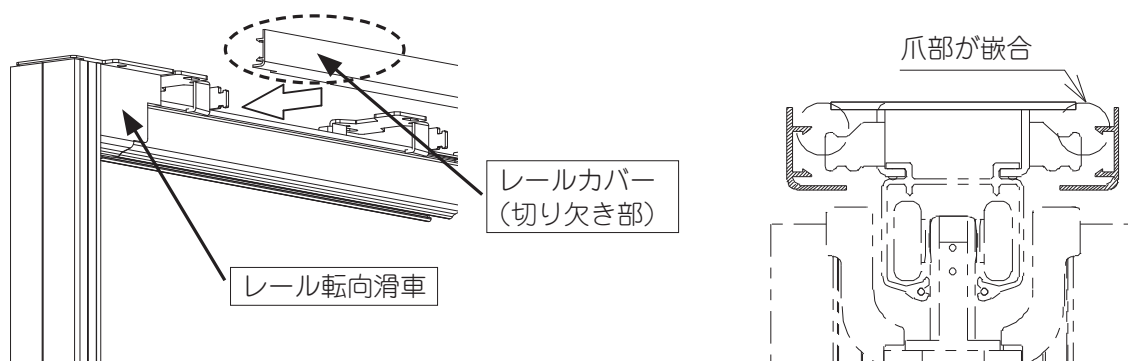
カムチカバーを壁面カムチに嵌め込んでください。



錘が傾かないよう注意してください。

7. レールカバーを取付ける。

レールカバーの切り欠き（点線丸部）がある方を、レール転向滑車側に取り付けます。レールカバーの爪部とブラケットの爪部が合うように、正面から押し込み嵌合させます。



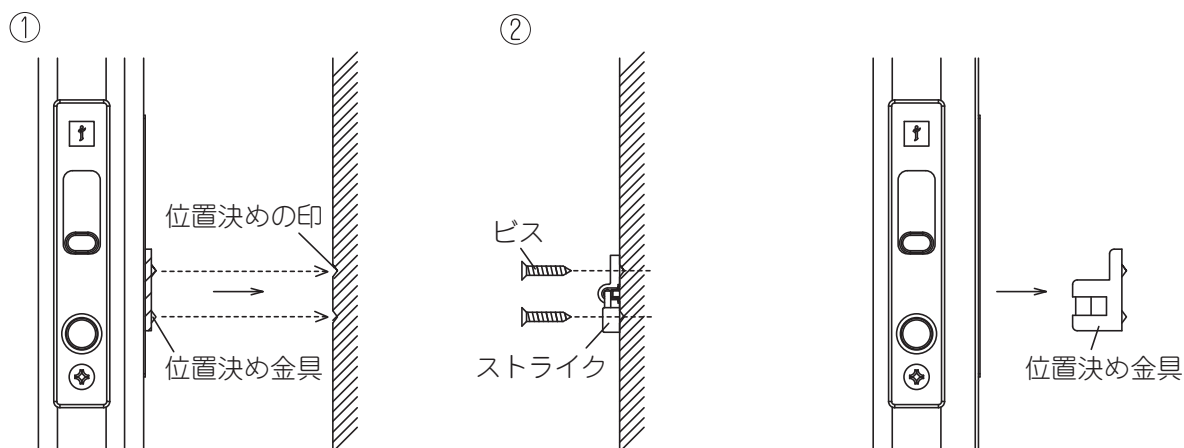
製品の取付けかた〈補足説明〉

■簡易ロック仕様（オプション）

簡易ロックのストライク（受け金具）の取付けは位置決め金具を付けたままで行ってください。

- ① 簡易ロックが内蔵されているカマチを壁面に押し当てると、ストライク位置決め金具の突起が壁面に当り、印が付きます。
- ② この位置にストライクをビスでしっかり固定してください。
ストライク取付け後は、ストライク位置決め金具は簡易ロック本体から取外して、廃棄してください。

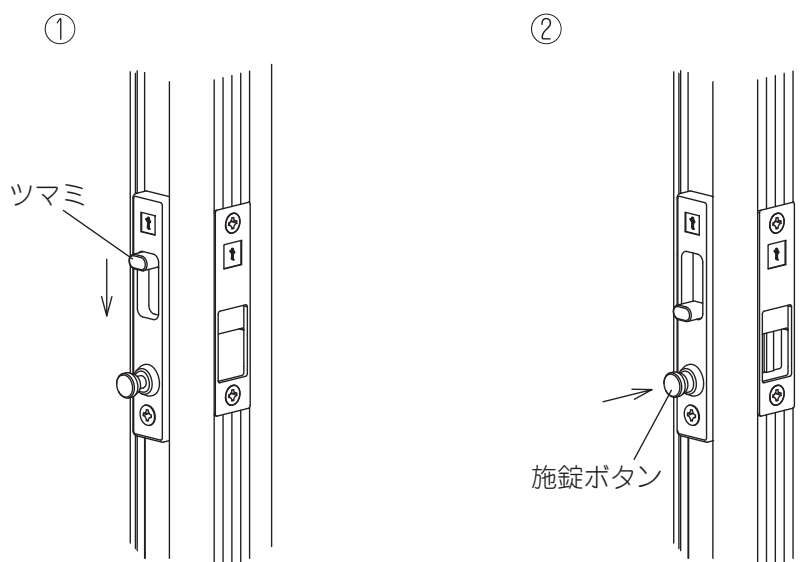
W $\geq$ 1201の場合はストライクがカマチに内蔵されていますので取付けの必要はありません。



■簡易ロックの使用方法

〈施錠〉

- ①：レザーを完全に閉じた状態で施錠側のツマミを下げると表示窓が、
閉 になります。
- ②：施錠ボタンを押すと、施錠が完了します。

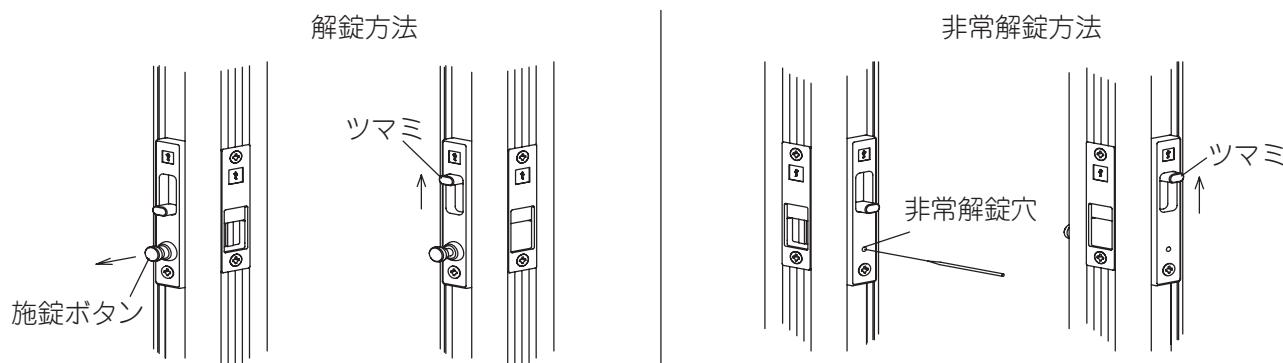


製品の取付けかた〈補足説明〉

〈解錠〉

施錠ボタンを引張り、ツマミを上げ表示窓が **開** の状態になると、解錠されます。

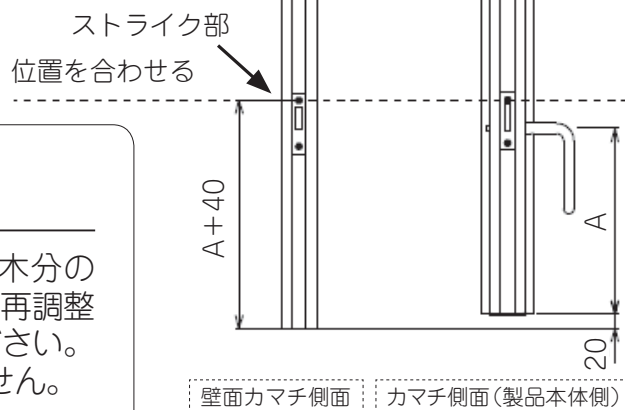
非常の場合には、施錠側の反対側から解錠できます。非常解錠棒を非常解錠穴に差し込みツマミを上げます。（表示窓が **開** の状態）



■ハンドルロック仕様（オプション）

ストライク（ロック受け部品）位置の確認

施錠をし、壁面カマチ内のストライクの位置が合っているか確認をしてください。



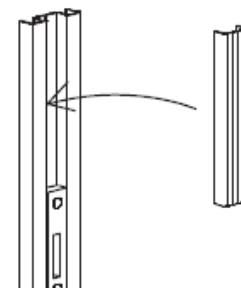
⚠ 注意

壁面カマチが開口高さよりも短い場合（例：巾木分の寸法がカットされている場合）ストライク位置を再調整する必要があります。下図を参照の上行ってください。製品W≧1201の場合は、調整する必要がありません。

製品高さ	A寸法(mm)
1600～2000	(製品高さ)÷2-140
2010～2400	1060

クッションゴムのセット（製品W≦1200の場合）

- 1) 壁面カマチはストライクが固定された状態で出荷しています。ストライクの上下の寸法に合わせてクッションゴムを切断します。
- 2) 壁面カマチの正面からクッションゴムを嵌め込んでください。

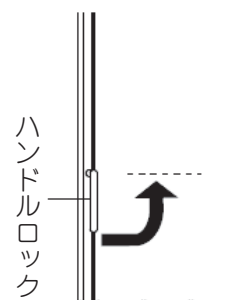


■ロック操作方法

ロックをかけるとき：ハンドルロックを矢印方向に90° 動かし、水平の状態にする。

ロックを解除するとき：ハンドルロックをもとの位置（垂直方向）に戻す。

※非常時の場合は奥側（表示窓側）からコインで解錠ができます。



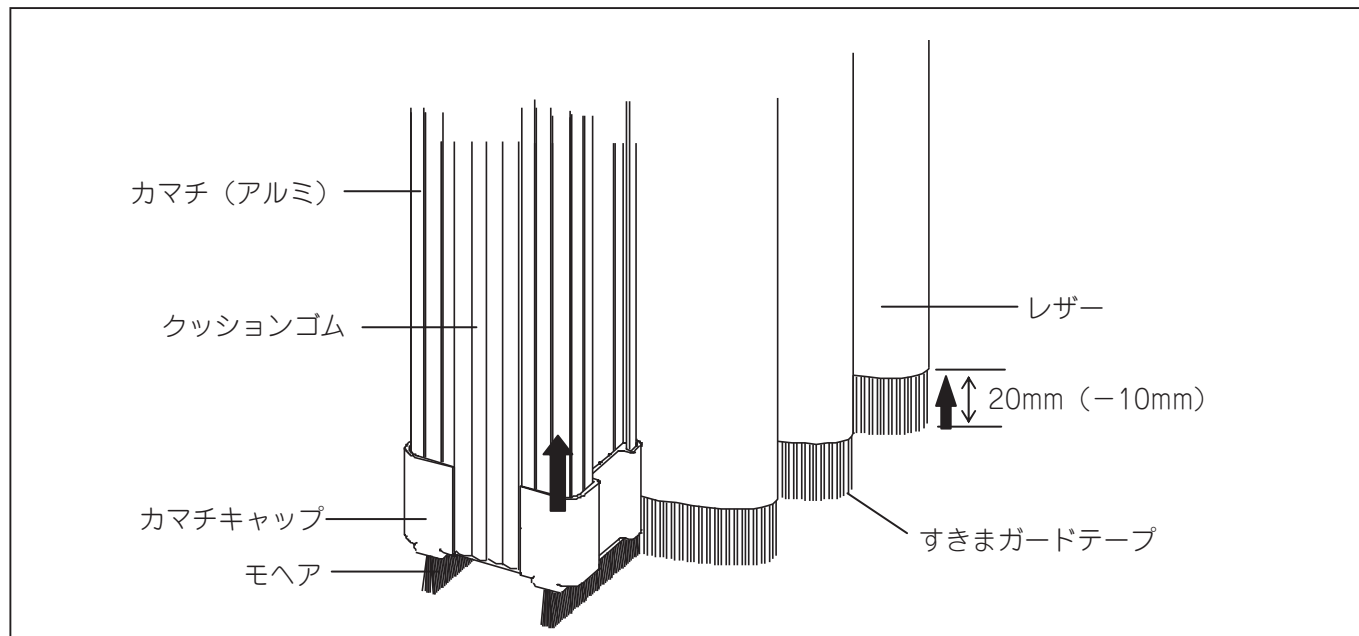
製品の取付けかた〈補足説明〉

■すきまガード仕様

製品出荷時は『レザー下端+20mm』の位置にあらかじめセットしています。

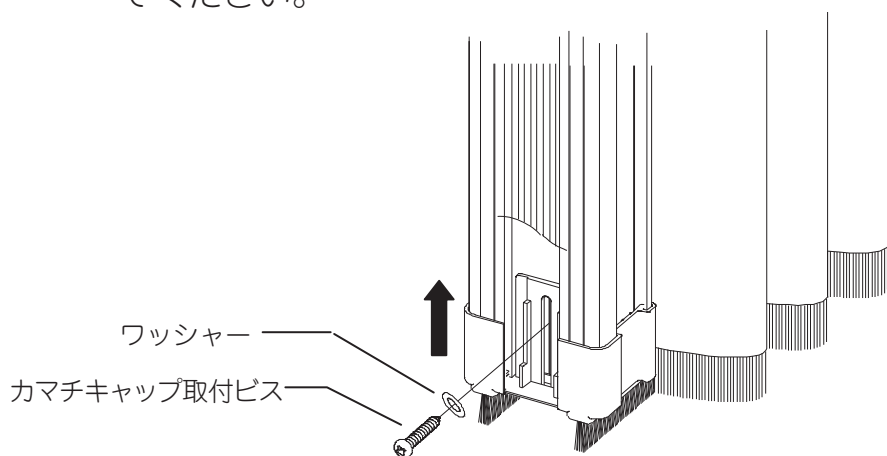
床面と「すきまガードテープ」・「モヘア」との間隔が少ないときに、上方向に若干調整ができます。

（カマチキャップを上調整。すきまガードテープについては調整不要。）



〈カマチキャップの調整方法〉 ※すきまガードテープはレザー下端より10～20mmの範囲で自動調整。

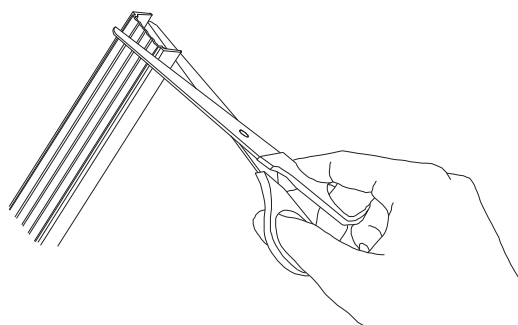
- ①カマチの一番下のクッションゴムを外し、カマチキャップ取付ビスをゆるめてください。
- ②カマチキャップは、モヘア下端が床面に接する位置まで上げ、ビスを締めて固定してください。



（注意）

テープ、モヘアをねかせた状態で使用することはお避けください。

- ③カマチキャップの調整後、クッションゴムを寸法に合わせ切断します。
- ④クッションゴムをカマチにセットして完了。

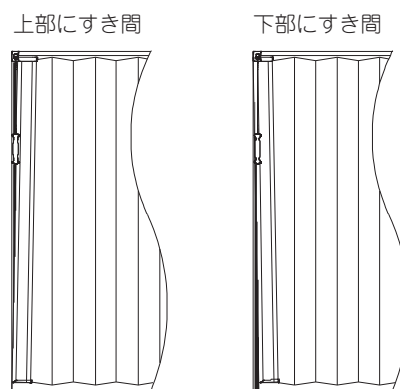


製品の調整のしかた

〔上部または下部にすき間が発生した場合〕

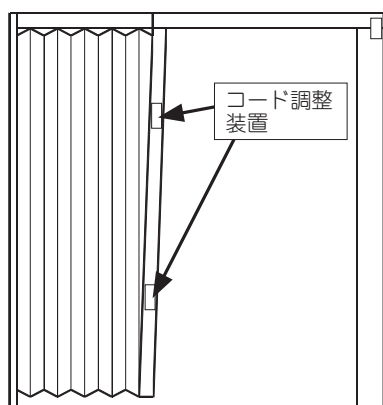
取付け場所のレベルの関係で、全閉状態のカマチと壁面上部及び下部に、すき間ができる場合には、下記の要領でカマチの傾きを調整してください。

- ①カマチのクッションを外します。
- ②カマチ内の下部のコード調整装置で調整します。
 - ・上部にすき間がある場合は、コードを詰めます。
 - ・下部にすき間がある場合は、コードを緩めます。



〔レール下端からコードが垂れる場合〕

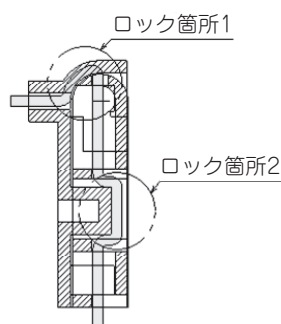
グリップで操作したときに、レール下端からコードが垂れる場合は、上記同様に、カマチ内の上部のコード調整装置で、コードを少し詰めて調整をしてください。



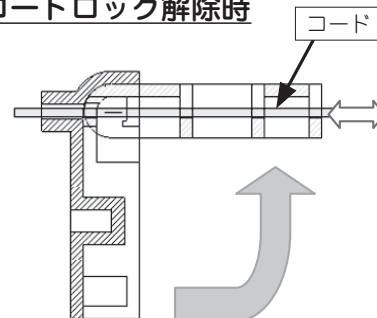
〈コード長さの調整方法〉

ブロックを起こすと、ロックを解除することができます。コードの長さを調整したあと、ブロックをパチンとロックするまで嵌め込み、再度固定します。

コードロック時



コードロック解除時



〔グリップの高さを変える場合〕

グリップの上面もしくは下面の合わせ目に、マイナスの精密ドライバーなどを挿入して嵌合を外し、2つに分割してください。
移動する長さ分、コードの結び玉の位置を調整し、グリップの元の位置に結び玉を収納してください。
再度グリップを嵌合させてください。

⚠ 注意

- ・コードの余長の範囲でのみ調整が可能です。
- ・製品を全開にしたときに、グリップが床面に当たらない範囲で調整してください。
- ・製品を全閉にしたときに、グリップが操作部に当たらない範囲で調整してください。



(合わせ目)

(結び玉)

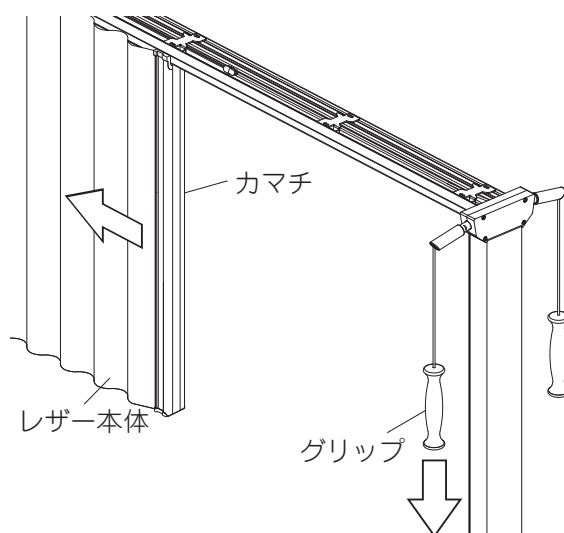
製品の操作のしかた

1. アコーディオンカーテンを開けるとき

グリップを下方に引きますと、引いた分だけアコーディオンカーテンが開きます。

グリップを離れた位置で、アコーディオンカーテンが停止します。

さらにグリップを引く操作を繰り返します。アコーディオンカーテンを全開の状態まですることができます。

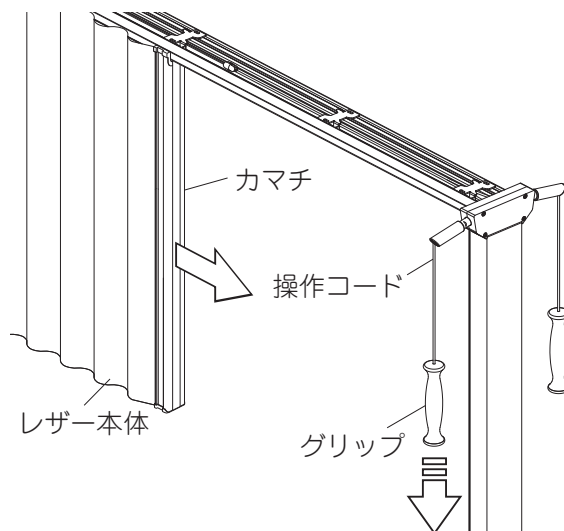


2. アコーディオンカーテンを閉めるとき

グリップを下方に少しだけ引きますと（カマチが少し開き方向に動く程度）、ストッパーが解除されますので、グリップを離すとアコーディオンカーテンが自動で全閉まで動作します。

※グリップを持ちながら操作すると、ゆっくり閉めることができます。

※全閉まで動作したあと、グリップがカマチと壁（または壁面カマチ）の間に挟まった場合には、操作コードを少し引きカマチを開き方向に動かしてグリップを戻してください。



⚠ 注意

- ・アコーディオンカーテンの開閉操作は、必ずグリップ（または操作コード）で行ってください。直接カマチなどを掴んで操作すると、破損の原因になります。
- ・長時間アコーディオンカーテンを開けたままで放置したあとの操作や、室温が低い場所でご使用になる場合、閉じる動作が遅くなることがありますが、故障ではありません。その際には、開け閉めを数回繰り返してください。

お手入れのしかた

- ①濡れたぞうきんで表面のホコリ・チリをふき取ってください。
- ②汚れがひどい場合は、「中性洗剤」を水で薄めてご使用ください。
- ③洗剤の使用後は、水ぶきをして洗剤成分をきちんとふき取ってください。
- ④最後にからぶきをして仕上げてください。からぶきには柔らかい布を使用してください。

⚠ 注意

レザーには強アルカリ洗剤、強酸洗剤は使用できません。製品を傷める可能性があります。又、ベンジン・トルエン・アセトン・シンナーの溶剤は使用しないでください。

メンテナンスシールのみかた

製品にはその製品のレザーNo、製品サイズなどがわかるメンテナンスシールを貼付けております。

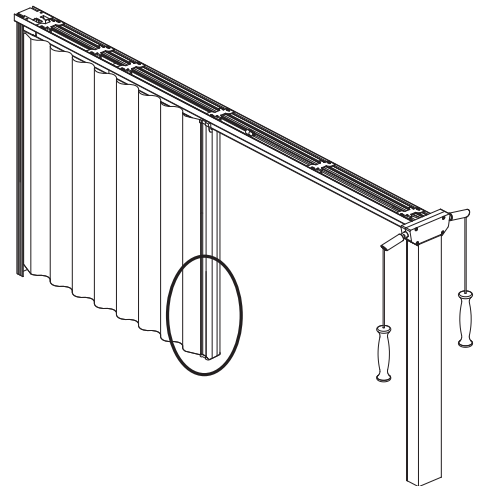
修理や部品交換等のお問合せの際、このシールに記載されている内容をお手元にご用意いただくと、スムーズに対応することができます。

お問合せの前に、あらかじめご確認ください。

【メンテナンスシール貼付場所】

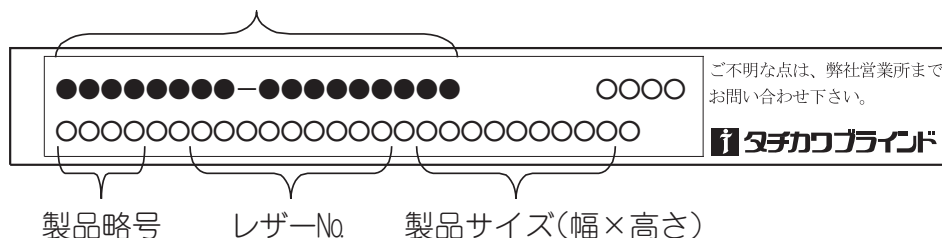
カマチの下部より

約60mmの位置に貼付けております。



【メンテナンスシール記載内容】

お問い合わせの場合は、この●部18桁（「-」ハイフン含む）の番号をご連絡ください。



保証とアフターサービス

〈無償修理規定〉

取扱説明書に記載通りの正常なご使用状態で、万一故障した場合は、ご購入日より3年間は無料にて修理をさせていただきます。但し、「レザー」につきましては、無償修理期間をご購入日より1年間とさせていただきます。

※次のような場合は無償修理期間内でも有料修理となります。

- ・ 取付け上の誤り、使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷。
- ・ 天変地異（火災、地震、水害、落雷等）による故障及び損傷。
- ・ 特殊環境（極度の湿気、薬品のガス、公害、塵埃等）による故障及び損傷。

※本規定は、日本国内においてのみ有効です。

修理をご依頼になる場合は、お買上げの販売店にお申しつけください。

転居などにより、お買上げいただいた販売店などが不明なときは、弊社支店にお問い合わせください。

その他、ご不明な点・お問い合わせ等は、下記のいずれかの方法からお願いいたします。

●お電話にて（フリーダイヤル） **0120-937-958（お客様相談室）**

受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00（土日・祝祭日、夏季休暇、年末年始等のぞく）

●インターネット（ホームページ）にて <http://www.blind.co.jp/contact/>

このたびは弊社製品をお買上げいただき、誠にありがとうございます。

〈無償修理規定〉を下記の通り改定させていただきましたので、〈無償修理規定〉につきましては本書をご覧ください。お読みになったあとは、取扱説明書といっしょにいつでも見られるところに大切に保管してください。

保証とアフターサービス

〈無償修理規定〉

取扱説明書に記載通りの正常なご使用状態で、万一故障した場合は、商品の引渡し日より3年間は無料にて修理をさせていただきます(生地部は対象外)。

但し、一部部品につきましては、無償修理期間を商品の引渡し日より1年間とさせていただきます(下記参照)。

外観不良につきましては、商品の引渡し後7日以内にお申し出ください。

※次のような場合は無償修理期間内でも有料修理となります。

- ・取付上の誤り、使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷。
- ・機能喪失を伴わない意匠劣化。
(さび、樹脂部分の変質、変色、塗装の退色、かびなど)
- ・天然素材の特性による現象。
(例…木部の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜けなど)
- ・建築躯体の変形など製品以外に起因する不具合。
- ・天変地異(火災、地震、水害、落雷等)による故障及び損傷。
- ・特殊環境(極度の湿気、薬品のガス、公害、塵埃等)による損傷。

※本規定は、日本国内においてのみ有効です。

無償修理期間が1年間となる部品(製品別)

ヨコ型ブラインド	シルキー/シルキーカーテン/パーフェクトシルキー フォレティア/アフタービート	……「スラット部」、「コード類」
タテ型ブラインド	ラインドレープ	……「生地以外のスラット部」、「コード類」
ロールスクリーン	ラルク/デュオレ	……「コード類」
ブリーツスクリーン	ペルレ/フィユ/ゼファー	……「コード類」
クレアス	ローマンシェード/カーテン//パネルカーテン	……「コード類」
アコーデオンカーテン/メイト/スクリーン		……「レザー」
ハーモニードア		……「レザー」
パネル間仕切り	プレイス/アズウッド/アコウォール	……「パネル部」

修理をご依頼になる場合は、お買上げの販売店にお申しつけください。

転居などにより、お買上げいただいた販売店などが不明なときは、

弊社支店にお問い合わせください。

 **立川ブラインド工業株式会社**

本社：〒108-8334 東京都港区三田3丁目1番12号 TEL. 03-5484-6100(大代表)
ホームページアドレス <http://www.blind.co.jp/>

 
この印刷物は、環境に配慮し古紙配合率70%の再生紙を使用しています。また、揮発性有機化合物の発生を抑えた大豆油インキを使用しています。

2015.07
944616

立川ブラインド工業株式会社

本社：〒108-8334 東京都港区三田3丁目1番12号 TEL.03-5484-6100(大代表)
ホームページアドレス <http://www.blind.co.jp/>



2014.07
944108